8月 24 日（月曜日）「熱病を癒す」

【新改訳 2017】

ルカ　4.38-40

「イエスは‥‥‥会堂を出て、シモンの家に入られた。すると、シモンのしゅうとめが、ひどい熱で苦しんでいた。‥‥‥イエスが‥‥‥熱をしかりつけられると、熱がひき、彼女は‥‥‥彼らをもてなし始めた。」（38、39 節）

　イエスは神の御子であり、能力のある方でした。そして、ご自分でよしとされた時は直ちに病気を癒すこともなさいました。それは、人間から見れば奇跡ですが、主ご自身には特別なことではありませんでした。

　主はシモン（ペテロ）の姑の熱病を癒し、また次々と連れて来られた、病人たちをも癒されました。このような癒しや助けのみわざは、イエスがキリスト（救い主）であることの証明であり、神の愛の発現であり、神の国の恵みの証でした。

　しかし、これらのことは、主イエスの十字架の福音に代わるものではありません。間違わないようにしましょう。

大切なのは、キリストの十字架の贖罪を信じて救われることです。

～祈り～

主よ。あなたは全能のお方です。しかし、あなたの十字架の福音を他のもの（こと）で代用したり、混同したりする誤りからお守りください。

【学びのために】

Ⅰコリント 2.1-5 参照。